

■ 明治日本画壇の重鎮

寺崎 廣業

てらさき こうぎょう

出身地 秋田市

1866年（慶応2年）～1919年（大正8年）

東京美術学校教授、文展審査員。岡倉天心、横山大

觀らとともに日本美術院を創立。確かな古典技法の

上に、近代的色彩、空間性、写実性を加えた格調高

い作品を発表。代表作に「高山清秋」などがあ

る。



年譜

1866年 秋田市に生まれる。幼名・忠太郎。

1883年 秋田市の小室怡々斎につき「秀斎」と号す。
秋田医学校中退。

1891年 日本青年絵画協会を結成。

1897年 東京美術学校助教授。

1901年 東京美術学校教授。

1907年 文展審査員。

1913年 東京美術学校日本画科主任。

1917年 帝室技芸員。

1919年 東京都で没。52歳。